

エアポート・サービス科(2年次)教育課程

エアポート・サービス科キャビンアテンダント・グランドスタッフコース(2年次)教育課程(履修規程第2条別表)

区分	科目	単位数	授業時数	通年科目	半期科目		集中講義科目	定期試験の受験資格		必要修得時数
					前期	後期		講義科目	実験又は実習科目	
一般科目	人間学Ⅱ	2	30		○			○		授業を履修し、試験に合格した科目(修得科目)の授業時数の合計が750時数以上であること
	接遇・ホスピタリティ概論Ⅱ	2	30		○			○		
	資格取得対策	2	30				○	○		
	T O E I C Ⅱ - 1	4	60		○			○		
	T O E I C Ⅱ - 2	4	60			○		○		
	英会話Ⅱ-1	4	60		○			○		
	英会話Ⅱ-2	4	60			○		○		
	ホスピタリティENGLISH-1	2	30		○			○		
	ホスピタリティENGLISH-2	2	30			○		○		
	中国語Ⅱ	2	30			○		○		
	韓国語	2	30			○		○		
専門科目	エアラインビジネスⅡ	2	30			○		○		
	空港業務知識Ⅱ-1	2	30		○			○		
	空港業務知識Ⅱ-2	2	30			○		○		
	エアポートサービスⅡ	2	30		○			○		
	接遇・ホスピタリティⅡ-CA	2	30		○			○		
	接遇・ホスピタリティⅡ-GS	2	30		○			○		
	コンピュータ実践	2	30			○		○		
	コミュニケーション実践	2	30			○		○		
	空港サービス基礎	2	30			○		○		
	品質管理	2	30		○			○		
	航空機概論	2	30			○		○		
	企業研修教育(基礎)	3	120			○			○	
	企業研修教育(応用)	7	300			○			○	
計		62	1200						750以上	

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目			開講時期		2年次	前期
学科・コース名	エアポートサービス科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース						
授業科目名	人間学Ⅱ			担当教員名	A科常勤教員・学生支援課 (1~12,15回) (14回)			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	社会人として必要な基礎知識、ルール、マナーおよび求められる基礎力について、講義、グループディスカッション、講演会、奉仕活動などを通して学ぶ。							
到達目標 (150文字程度)	社会人として必要な基礎知識、ルール、マナーを身につける。 「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の必要性を理解し、普段から心掛け実行する。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	課題レポート	取り組み姿勢				
			80%	20%				
教員実務経験	—							
学生へのメッセージ (150文字程度)	立派な社会人として活躍できるように、学んだことを普段から実践し身に付けてください。 また、自分の夢を実現させ幸せになるための具体的な行動を考え、実行する習慣が身に付いたかを振り返り、実社会においても成長し続けてください。							
教科書	書名	社会人基礎力講座			書名			
	書名				書名			
参考書	書名				書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について) ※実施時期は適宜設定		
回=90分	項目	内容
1	新社会人講座	(1)良い人間関係を作るには (2)会社の仕組みと組織 (3)社会人としてのマナー
2		
3		
4		
5		
6	社会人基礎力	(1)前に踏み出す力 (2)考え抜く力 (3)チームで働く力 アクティブラーニング(調べる、纏める、発表する)
7		
8		
9		
10※	グループディスカッション	グループディスカッション
11※		
12※		
13※	講演会など	外部講師等による講演または学科教員による講義
14※	コンプライアンス	コンプライアンス
15※	奉仕活動	清掃活動など

2026シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科 キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース			開講時期	2年次	前期
授業科目名	接客ホスピタリティ概論Ⅱ	担当教員名	田中 あおい			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分 必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	内定前・内定後にも有効活用できるヒューマンスキルを磨いていきます。社会人としてのスタートに向けた行動変革と実行力を知識および行動の側面から学習します。					
到達目標 (150文字程度)	①就職内定に向けた社会人基礎力を身につける。 ②自己肯定感とチーム力を身につけ、組織人としてスタートを切る力を習得する。 ③社会人としての一般常識マナーを習得する。					
評価方法	定期試験			その他の評価方法		
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢	小テスト		
		50%	20%	30%		
教員実務経験	客室乗務員における実務経験					
学生へのメッセージ (150文字程度)	先輩や同僚から愛される新入社員を目指し、ベーシックマナーと参画意識を身につけましょう。接客者として、好感度の高いマナーを身につけます。					
教科書	書名	ビジネスマナーの基本ルール		書名	社会人基礎力講座	
	書名	コミュニケーションマナー検定		書名		
参考書	書名	グループ体験学習ワーク		書名		
	書名			書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)			
回=90分	項目	内容	
1	社会人基礎力	自己分析と対策	
2	社会人の基本ルール	あいさつの基本・名刺交換/紹介のしかた・されかた	
3		職場の人間関係の基本/役職・先輩上司・同期・後輩との付き合い方	
4		報連相の基本(月報・届け出の書き方・休暇・遅刻・早退・欠勤報告)	
5	業務マナー	社会人としての言葉遣い(敬語・ビジネス慣用語)	
6			
7		指示の受け方(メモを取る)・依頼のしかた/携帯電話のマナー	
8		社会人としての時間管理(始業前・終業・退社・ワークライフバランス)	
9		会議の運営(準備・心構え・マナー)	
10	一般常識マナー	ビジネス文書の基本ルール	
11		手紙のマナー/年末年始の挨拶/お中元・お歳暮	
12		ビジネスメールのルール	
13		冠婚葬祭のマナー/食事のマナー	
14		新社会人としての第一印象(身だしなみ・ビジネス小物・通勤スタイル)	
15	モチベーションマネジメント	自己肯定感/自己管理	
			レポート

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース		開講時期	2年次	集中
授業科目名	資格取得対策		担当教員名	村山 一成			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	①IATAディプロマ危険物資格を取得するための知識付与 ②国際空港内車両運転資格取得に向けた知識付与 ③航空機の運航整備補助、地上走行支援業務の知識付与						
到達目標 (150文字程度)	①IATAディプロマ危険物資格が取得可能な知識を習得 ②国際空港内車両運転資格試験に合格できる知識習得 ③運航整備補助、地上走行支援業務の知識習得						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	100%				
教員実務経験	エアライン系企業によるグラウンドハンドリング実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	グラウンドハンドリングスタッフとして必要な資格を早期に取得するため詳細な知識を学びます。知識習得を目指して積極的に授業に臨んでください。						
教科書	書名	DGR 67th Edition			書名	配布資料	
	書名	ICAO-IATA危険物規則の抜粋(2018年度版)			書名		
参考書	書名				書名		
	書名				書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	IATAディプロマ危険物試験対策	IATAディプロマ危険物コース試験の概要
2		航空危険物輸送規則1～5章
3		航空危険物輸送規則6～10章
4		過去問題の演習及び解説
5		過去問題の演習及び解説
6	国際空港内車両運転資格	空港内運転規則の概要
7		空港内運転規則解説①
8		空港内運転規則解説②
9		空港内運転規則解説③
10		過去問題の演習及び解説
11	運航整備補助、地上走行支援業務	運航整備補助、地上走行支援概要
12		各種誘導信号の理解と対処方法
13		コクピット点検、操作要領および緊急時の処置
14		航空機地上移動の種類、緊急時の処置
15		運航整備補助、地上走行支援業務まとめ

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科 キャビンアテンダント・グランドスタッフコース			開講時期	2年次	前期	
授業科目名	TOEIC II-1		担当教員名	那須 まゆみ			
授業形態	講義	授業時数	60	単位数	4	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空業界に就職する際、及び就職後も高得点を求められるTOEICのリーディング能力向上を目指す。英文法を理解し、長文読解力をつける。						
到達目標 (150文字程度)	TOEIC 600点以上						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	小テスト	授業姿勢			
	80%		10%	10%			
教員実務経験	大学・企業での各種TOEIC講座担当						
学生へのメッセージ (150文字程度)	卒業するまでに600点を取ることを目標に、「継続は力なり」・・・これを信じてひたすら勉強してください。今こそ、学ぶ時です。						
教科書	書名	TOEICテスト 中学英文法で600点！		書名	TOEIC TEST 英単語出るとこだけ！		
	書名	世界一わかりやすいTOEICテストの授業		書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	1. 動詞	述語部分 復習
2	Part 1 写真描写問題	語彙と表現
3	Part 2 応答問題	語彙と表現
4	Part 3基礎	会話文
5	Part 4基礎	説明文
6	TOEIC模試問題	Part 5,6
7		Part 7
8	Part 1,2	応用問答
9	2. 形容詞と副詞	形容詞、副詞
10	Part 3	図形問題
11	TOEIC模試問題	Part 7
12	Part 4	場面の把握
13	TOEIC模試問題	Part 5,6
14	TOEIC模試問題	Part 7
15	Part 2	意外な返答
16	Part 3	会話文
17		実践問題
18	Part 4	場面の把握
19		実践問題
20		
21	会話表現	TEL 接待
22	会話表現	提案、謝罪
23	Part 1, 2	応用問答
24	Part 3	語彙と表現
25		実践問題
26	Part 4	図形問題
27	TOEIC模試問題	語彙と表現
28	TOEIC模試問題	会話文
29	TOEIC模試問題	公式問題集
30	TOEIC模試問題	公式問題集

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科 キャビンアテンダント・グランドスタッフコース			開講時期	2年次	後期	
授業科目名	TOEIC II-2		担当教員名	那須 まゆみ			
授業形態	講義	授業時数	60	単位数	4	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空業界に就職する際、及び就職後も高得点を求められるTOEICのリーディング能力向上を目指す。英文法を理解し、長文読解力をつける。						
到達目標 (150文字程度)	TOEIC 600点以上						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	小テスト	授業姿勢			
	80%		10%	10%			
教員実務経験	大学・企業での各種TOEIC講座担当						
学生へのメッセージ (150文字程度)	卒業するまでに600点を取ることを目標に、「継続は力なり」・・・これを信じてひたすら勉強してください。今こそ、学ぶ時です。						
教科書	書名	TOEICテスト 中学英文法で600点！		書名	TOEIC TEST 英単語出るとこだけ！		
	書名	世界一わかりやすいTOEICテストの授業		書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	1. 準動詞	不定詞
2		実践問題
3	1. 準動詞	動名詞
4		実践問題
5	1. 準動詞	分詞
6		実践問題
7	Part 3	語彙と表現
8		模試問題 Part 5
9		模試問題 Part 6
10	Part 4	語彙と表現
11		模試問題 Part 7
12	2. 比較	比較級
13	Part 2	想定外表現
14	Part 3	表現復習
15		実践問題
16	Part 4	設問先読み
17	解放テクニック	応答表現
18	Part 3	図形問題
19	解放テクニック	ビジネス語
20	3.前置詞・接続詞	前置詞
21		実践問題
22	3.前置詞・接続詞	接続詞
23		実践問題
24	Part 7	シングルパッセージ読解
25		ダブルパッセージ読解
26		トリプルパッセージ読解
27	模試問題	時間管理
28	模試問題	集中力
29	模試問題	実践力
30	総合問題	英語力強化

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース		開講時期	2年次	前期
授業科目名	英会話Ⅱ-1		担当教員名	Mathew Davies			
授業形態	講義	授業時数	60	単位数	4	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	空港における安全な環境を理解し、キャビンアテンダント、グラウンドスタッフとして国際空港で使用できる英語を学ぶ。 様々なシチュエーションにおいて旅客者に対応できる英語能力を培う。						
到達目標 (150文字程度)	ネイティブスピーカーとの対話の中で正しい発音や丁寧な表現を身につける。 やや複雑な英語表現の習得。 基本的な企業面接対策に参加し、スキルや経験を英語で説明する能力を身につける。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢				
	80%	0%	20%				
教員実務経験	Concord College (英国)にて4年、ラング教育センター(広島県)にて2年、Marcus Evans Linguarama(英国)にて2年、Business & Technical Languages(英国)にて1年、エクセルアカデミーにて1年の英語講師経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	授業中失敗を恐れず積極的に発言する姿勢を望む。						
教科書	書名	Interchange 2 student book (5th ed.)		書名			
	書名	Interchange 2 workbook (5th ed.)		書名			
参考書	書名	ワークシート(小冊子):グラウンドスタッフ英語		書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	Unit 1 ①	人々、幼少期、記憶など
2	Unit 1 ②	人々、幼少期、記憶など
3	Unit 1 ③	人々、幼少期、記憶など
4	Unit 1 ④	人々、幼少期、記憶など
5	Unit 2 ①	運搬、運搬時のトラブル、市のサービス
6	Unit 2 ②	運搬、運搬時のトラブル、市のサービス
7	Unit 2 ③	運搬、運搬時のトラブル、市のサービス
8	Unit 2 ④	運搬、運搬時のトラブル、市のサービス
9	Unit 3 ①	家、アパート、ライフスタイルの変化、求めるもの
10	Unit 3 ②	家、アパート、ライフスタイルの変化、求めるもの
11	Unit 3 ③	家、アパート、ライフスタイルの変化、求めるもの
12	Unit 3 ④	家、アパート、ライフスタイルの変化、求めるもの
13	Unit 4 ①	食べ物、レシピ、指導、調理法
14	Unit 4 ②	食べ物、レシピ、指導、調理法
15	Unit 4 ③	食べ物、レシピ、指導、調理法
16	Unit 4 ④	食べ物、レシピ、指導、調理法
17	テスト+Unit 5 ①	Unit 1-4の確認テスト 旅行、休暇、予定
18	Unit 5 ②	旅行、休暇、予定
19	Unit 5 ③	旅行、休暇、予定
20	Unit 5 ④	旅行、休暇、予定
21	Unit 6 ①	苦情、家事、リクエスト、弁解、謝罪
22	Unit 6 ②	苦情、家事、リクエスト、弁解、謝罪
23	Unit 6 ③	苦情、家事、リクエスト、弁解、謝罪
24	Unit 6 ④	苦情、家事、リクエスト、弁解、謝罪
25	Unit 7 ①	テクノロジー、指導
26	Unit 7 ②	テクノロジー、指導
27	Unit 7 ③	テクノロジー、指導
28	Unit 7 ④	テクノロジー、指導
29	Unit 1-7のまとめ①	Unit 1-7のまとめ、Q&Aとより詳しい復習
30	Unit 1-7のまとめ②	Unit 1-7のまとめ、Q&Aとより詳しい復習

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース		開講時期	2年次	後期
授業科目名	英会話Ⅱ-2		担当教員名	Mathew Davies			
授業形態	講義	授業時数	60	単位数	4	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	空港における安全な環境を理解し、キャビンアテンダント、グラウンドスタッフとして国際空港で使用できる英語を学ぶ。 様々なシチュエーションにおいて旅客者に対応できる英語能力を培う。						
到達目標 (150文字程度)	ネイティブスピーカーとの対話の中で正しい発音や丁寧な表現を身につける。 やや複雑な英語表現の習得。 基本的な企業面接対策に参加し、スキルや経験を英語で説明する能力を身につける。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢				
	80%	0%	20%				
教員実務経験	Concord College (英国)にて4年、ラング教育センター(広島県)にて2年、Marcus Evans Linguarama(英国)にて2年、Business & Technical Languages(英国)にて1年、エクセルアカデミーにて1年の英語講師経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	授業中失敗を恐れず積極的に発言する姿勢を望む。						
教科書	書名	Interchange 2 student book (5th ed.)		書名			
	書名	Interchange 2 workbook (5th ed.)		書名			
参考書	書名	ワークシート(小冊子):グラウンドスタッフ英語		書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	Unit 8 ①	現在、過去、未来の出来事、変化と比較、影響
2	Unit 8 ②	現在、過去、未来の出来事、変化と比較、影響
3	Unit 8 ③	現在、過去、未来の出来事、変化と比較、影響
4	Unit 8 ④	現在、過去、未来の出来事、変化と比較、影響
5	Unit 9 ①	現在、過去、未来の出来事、変化と比較、影響
6	Unit 9 ②	現在、過去、未来の出来事、変化と比較、影響
7	Unit 9 ③	現在、過去、未来の出来事、変化と比較、影響
8	Unit 9 ④	現在、過去、未来の出来事、変化と比較、影響
9	Unit 10 ①	能力とスキル、職業の選択、個人の特徴、キャリア
10	Unit 10 ②	能力とスキル、職業の選択、個人の特徴、キャリア
11	Unit 10 ③	能力とスキル、職業の選択、個人の特徴、キャリア
12	Unit 10 ④	能力とスキル、職業の選択、個人の特徴、キャリア
13	Unit 11 ①	ランドマークとモニュメント、世界の知識
14	Unit 11 ②	ランドマークとモニュメント、世界の知識
15	Unit 11 ③	ランドマークとモニュメント、世界の知識
16	Unit 11 ④	ランドマークとモニュメント、世界の知識
17	テスト+Unit 12 ①	Unit 8-11の確認テスト、人々の過去の出来事、最近の出来事について
18	Unit 12 ②	人々の過去の出来事、最近の出来事について
19	Unit 12 ③	人々の過去の出来事、最近の出来事について
20	Unit 12 ④	人々の過去の出来事、最近の出来事について
21	Unit 13 ①	エンターテインメント、映画や本、感想や意見
22	Unit 13 ②	エンターテインメント、映画や本、感想や意見
23	Unit 13 ③	エンターテインメント、映画や本、感想や意見
24	Unit 13 ④	エンターテインメント、映画や本、感想や意見
25	Unit 14 ①	ノンバーバルコミュニケーション、ジェスチャーや意味、サイン、結論を出す
26	Unit 14 ②	ノンバーバルコミュニケーション、ジェスチャーや意味、サイン、結論を出す
27	Unit 14 ③	ノンバーバルコミュニケーション、ジェスチャーや意味、サイン、結論を出す
28	Unit 14 ④	ノンバーバルコミュニケーション、ジェスチャーや意味、サイン、結論を出す
29	Unit 8-14のまとめ①	Unit 8-14のまとめ、Q&Aとより詳しい復習
30	Unit 8-14のまとめ②	Unit 8-14のまとめ、Q&Aとより詳しい復習

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目			開講時期		2年次 前期	
学科・コース名	エアポートサービス科 キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース			開講時期	2年次 前期			
授業科目名	ホスピタリティENGLISH-1		担当教員名	田中 希代子				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	空港での搭乗手続き、手荷物の受託、乗り継ぎのご案内と機内での接客英語を航空業界に特化したテキストを使用しシーン毎に学んでいきます。日常会話とは異なる丁寧な接客英語をリスニング、カンパセーションを通じてマスターします。							
到達目標 (150文字程度)	①空港及び航空機内業務に特化した必要な接客英語を習得する。②海外渡航時における基礎英会話を習得する。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢姿勢					
	60%	-	40%					
教員実務経験	国際線・国内線客室乗務員							
学生へのメッセージ (150文字程度)	航空関連の接客のシーンにおいて、即戦力となる実践的な英会話を習得します。海外旅行時のトラベル英会話としても有効な会話です。丁寧な英語表現をマスターしましょう。							
教科書	書名	HOSPITALITY ENGLISH			書名			
	書名				書名			
参考書	書名	すぐに使える接客英会話			書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	Airport	Unit1 Ticketing for Domestic Flight
2		Unit2 Domestic Flight Check-in
3		Unit3 International Flight Check-in
4		Unit4 Airport Lounge Service
5		Unit4 Airport Lounge Service
6		Unit5 Assisting Transit Passengers
7		Unit6 Baggage Issues
8		Unit6 Baggage Issues
9	In-flight	Unit7 Welcome Aboard
10		Unit8 Before Takeoff
11		Unit9 In-flight Service
12		Unit10 In-flight Sales
13		Unit11 Passenger Care
14		Unit12 Before Landing
15	Review	Polite English

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目			開講時期	2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科 キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース						
授業科目名	ホスピタリティENGLISH-2	担当教員名	田中 希代子				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	訪日外国人対応力向上を目指し、接客英会話の基本を各シーン毎に学習します。						
到達目標 (150文字程度)	様々な接客業において、基本的な接客英会話をマスターし、海外渡航時にのグローバルコミュニケーションを身につけます。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢姿勢				
	60%	-	40%				
教員実務経験	国際線・国内線客室乗務員						
学生へのメッセージ (150文字程度)	様々な業種における接客シーンにおいて、即戦力となる実践的な英会話を習得します。海外旅行時のトラベル英会話としても有効な会話です。丁寧な英語表現をマスターしましょう。						
教科書	書名	HOSPITALITY ENGLISH			書名		
	書名				書名		
参考書	書名	キクタン英会話(海外旅行編)			書名		
	書名	すぐに使える接客英会話			書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	接客英会話の基本	お客様歓迎・お見送り・営業時間の案内・店内の案内/HE Unit1復習
2		聞き取れない場合の対応・お詫び/HE Unit2復習
3		あいづちと役立つ表現/HE Unit3復習
4		雑談/HE Unit4復習
5		会計/HE Unit5復習
6		急病人ケア/Unit 6復習
7	レストラン	予約の確認・座席案内/Unit 7復習
8		注文を聞く/HE Unit 8復習
9		料理を運ぶ/HE Unit 9復習
10		クレーム対応/HE Unit 10復習
11		ファーストフード/HE Unit11復習
12		回転寿司・居酒屋・和食/HE Unit12復習
13		緊急対応・急病人対応
14	ショッピング	コンビニエンスストア・スーパーマーケット・買い物をする
15	Review	Review

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース	開講時期	2年次	後期
授業科目名	中国語 II		担当教員名	高 チン坤	
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2
				選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	中国語 I で身につけた中国語の基礎をより強固なものにする。簡単な日常会話表現および空港で多用される中国語を実際に使えるようになり、将来航空業界で活用できることを目指す。				
到達目標 (150文字程度)	具体的な場面を通して習った中国語をくり返し練習し、実際に使えるレベルまでの基礎的知識と運用能力を身につける。				
評価方法	定期試験		その他の評価方法		
	レポート	小テスト	授業姿勢		
	60%	20%	20%		
教員実務経験	20年以上の語学教育の経験があり、常に授業アンケートによる高評価とされている。				
学生へのメッセージ (150文字程度)	一緒に楽しく中国語を勉強しましょう！ 加油(頑張りましょう)！				
教科書	書名	1冊めの中国語・会話クラス	書名	白水社	
	書名		書名		
参考書	書名		書名		
	書名		書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)

回=90分	項目	内容
1	発音入門1&初級文法1	声調と単母音 楊麗さんですか(人称代名詞、“是”、“不”、“吗”)
2	発音入門2&初級文法2	子音と複母音 荷物は多いですか(指示代名詞、形容詞述語文、“怎么样”、“的”)
3	発音入門3&初級文法3	鼻母音、声調の変化、儿化音 明日はどこへ行きますか(場所代名詞、動詞述語文、疑問文①②、)
4	初級文法4	ケーキを食べたいですか(“想”、疑問文③、“也”、動詞の重ね型、“吧”)
5	初級文法5	これはいくらですか(数詞、量詞、疑問文④)
6	初級文法6	電子辞書を持っていますか(“有”①、“在”①、“离”)
7	初級文法7	京劇チケットを買いました(連動文、“什么”、“了”①、“怎么”)
8	初級文法8	ファーストフード店がありますか(“了”②、“有”②、“在”②)、小テスト①
9	初級文法9	中国の歌が歌えますか(“可以、能、会”、“喜欢”、“给”)
10	初級文法10	長城に行ったことがありますか(時刻、“过”、動作の回数、方向補語)
11	初級文法11	お腹をこわしました(主述述語文、“有点儿”、“是～的”、比較の表現)
12	初級文法12	どのぐらいの時間がかかりますか(結果補語、“从～到”、二重目的語構文)
13	初級文法13	トイレが故障しました(名詞述語文、使役動詞、番号の言い方)
14	初級文法14	中国語が上手ですね(様態補語、動作の進行)
15	初級文法15	いよいよ帰国です(“就要～了”、主述構造の目的語、名詞の修飾語、“为”)、小テスト②

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース	開講時期	2年次	後期
授業科目名	韓国語		担当教員名	趙 甲淑	
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2
				選択必修区分	必須
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	本授業は、韓国語の基礎的知識と技能を修得することを目的とする。 ハングル文字の構造理解と正確な読み書きを通じて、初級レベルの語彙および文法を体系的に学習し、接客業務において必要とされる基本的な韓国語表現を習得することで、実務に資する語学力の基礎を養成する。				
到達目標 (150文字程度)	本授業を修了した学生は、以下の能力を身につけることを目標とする。 1. ハングル文字の基本的な読み書きができる。 2. 基礎的な語彙や表現を用いて、簡単な自己紹介を行うことができる。 3. 初級レベルの文法事項を理解し、短い文章の意味を把握することができる。 4. 接客の場面で使用される基本的な韓国語表現を理解し、適切に用いることができる。				
評価方法	定期試験		その他の評価方法		
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢		
	80%		20%		
教員実務経験	—				
学生へのメッセージ (150文字程度)	韓国語をはじめて学ぶ学生を対象に、 ・ハングルの読み書き ・かんたんなあいさつ ・自分のことを伝える表現 ・実務に備えて接客で使える韓国語を、ゆっくり・くり返し学びます。				
教科書	書名	西江韓国語/1A	書名		
	書名		書名		
参考書	書名	西江韓国語/1A(翻訳、文法解説)	書名		
	書名		書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	第1回	オリエンテーション、韓国語の仕組み 母音
2	第2回	子音①.発音練習
3	第3回	子音②.パッチム
4	第4回	ハングル読み書き、発音復習
5	第5回	ハングル総復習、基本あいさつ
6	第6回	自己紹介表現
7	第7回	場所・存在表現
8	第8回	動詞の基本形(現在形)
9	第9回	丁寧表現・依頼表現
10	第10回	簡単な会話表現
11	第11回	実務・接客表現
12	第12回	短文読解
13	第13回	総復習(語彙・文法)
14	第14回	総復習・試験対策
15	第15回	テスト

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目					
学科・コース名	エアポートサービス科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース			開講時期	2年次 後期	
授業科目名	エアラインビジネスⅡ	担当教員名	森 久見子				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空専門学校生目線でエアライン新ビジネス会社設立(架空)に向け柔軟な思考で検討しあい、必要な情報の取得方法や、発言力・提案力・傾聴力を強化する。また航空業界が抱える未来の問題についても考える。						
到達目標 (150文字程度)	1. 航空関連の時事ニュースのキャッチ力を強化する 2. 航空会社の従業員満足、顧客満足への取り組みを学ぶ 3. 国内地域や海外に視野を広げ、各地の地域特性や課題を洗い出し、エアラインビジネス的提案を行う						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	授業ワーク				
		20%	80%				
教員実務経験	エアラインでの総合的な実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	日本や世界の地理的な特色や地域特性を調べ、将来のエアラインビジネス的課題を多角的に捉え、チームで熱く討論を重ね、発案や問題解決策を講じる力を養いましょう。						
教科書	書名		書名				
	書名		書名				
参考書	書名		書名				
	書名		書名				

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ガイダンス	本講義概要説明、TOPICS 最新情報の調べ方、共有方法について
2	日本の地域、空港	北海道地方、東北地方、北陸地方、関東地方、東海地方、関西地方、中国地方、四国地方、九州地方、沖縄地方の都市、空港、航空会社、特性、課題を抽出
3		
4		
5		
6	グローバル	世界の中の日本、国際経済について
7	物流	物流を考える
8	ビジネス企画書	会社立ち上げ企画書を作成
9	ブランディング	ブランディングを考える
10	レベニューマネジメント	レベニューマネジメントの必要性
11	CS	顧客満足度について
12	ES	従業員満足度について
13	発表会	発表準備
14		会社設立(架空)発表会
15	未来の年表	

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目		
学科・コース名	エアポートサービス科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース	開講時期	2年次 前期
授業科目名	空港業務知識Ⅱ-1	担当教員名	村山 一成	
授業形態	講義	授業時数	30	単位数 2 選択必修区分 必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	① 人間の行動特性から起こりうるヒューマンエラーの仕組みを理解し、そのエラーコントロール手法を習得する。 ② エラー防止の実践と定着をめざす。 ③ 企業における安全風土の意識づくりの重要性を理解する。			
到達目標 (150文字程度)	人間はエラーを起こしやすく、小さなエラーを発端として大きな事故に繋がっていく。そのメカニズムを確実に理解し、危険予知の手法を学ぶことで自分自身を守り、かつ職場の仲間を守る安全な職場環境にするための基礎知識を習得する。			
評価方法	定期試験		その他の評価方法	
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢姿勢	
	90%		10%	
教員実務経験	エアライン系企業によるグラウンドハンドリング実務経験			
学生へのメッセージ (150文字程度)	安全は航空業界に関わらず、すべての業務において最も重要な課題です。今後、さまざまな業務に携わっていく者として、まず自分を守ること、仲間の安全を守ることを常に意識できるよう授業に望み、知識を積極的に吸収してください。			
教科書	書名	HF's訓練パワーポイント	書名	
	書名		書名	
参考書	書名		書名	
	書名		書名	

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	オリエンテーション	ヒューマンファクターズについての進め方及び評価方法
2	HF's基本原理	ヒューマンファクターズの基礎
3	ヒューマンファクターズとは	人間の要素と行動思考との関連性を理解
4	人間の特性	人間の脳の情報処理
5		メカニズムを理解
6	エラーの分類と対策	エラータイプの理解
7		エラーを増加させる要件
8	バイオレーション	バイオレーションの理解と防止
9	環境・健康と安全	環境が安全行動に及ぼす影響を理解
10		健康が安全行動に及ぼす影響を理解
11	チームコーディネーション	多人数で「行動することのメリット」を学ぶ
12		
13	エラー防止の実践法	エラーコントロールを理解
14	ケーススタディ	エラーの防止法について理解
15	グループ討議、発表	ビデオ視聴によるエラーの発見と対処についてグループごとに討議。結果を発表し各個人の理解力を深める。

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期	2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース					
授業科目名	空港業務知識Ⅱ-2	担当教員名	田中 陽彦				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	各担当の業務上の知識だけに留まらず、空港施設や空港内における様々な規則、ルールについての理解を深める。						
到達目標 (150文字程度)	空港内における様々な規則、ルールを理解すると共に業務間の繋がりを相互理解する。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	100%				
教員実務経験	空港内に於ける実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港業務に関する幅広い知識の習得に積極的に取り組んでください。						
教科書	書名		書名				
	書名		書名				
参考書	書名		書名				
	書名		書名				

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	空港特性	現行各航空会社で運用されている機種の説明と用途について
2		航空機を運航するにあたっての各関連セクションとの繋がりについて
3		日本国内で旅客便が就航している空港の特性と問題点について
4		各空港における規則の相違点について(空港特性)
5		空港保安に関する過去事例と対策について
6	空港内における異常時の対応	空港内における気象に関する各警報の意味と対応方法について
7		航空機出発作業時に遅延した際の遅延理由コードの構成と意味及び時間管理の重要性について
8		各機種で決められている標準作業工程と各セクションの役割について
9		悪天候下において空港がどのように運用されているのかについて
10	空港内の保安と安全	航空貨物扱いの危険物と手荷物扱いの危険物取扱上の相違点について
11		新聞等にて報じられる航空業界の事例について
12		空港内に於いて発生した過去の事故・イレギュラー事例を取り上げ原因と対策を研究する
13	航空業界について	日本の航空輸送の現状と今後の発展について
14		日本国内における空港の現状と今後の展開について
15	まとめ	総括

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次		前期	
学科・コース名	エアポートサービス科			キャビンアテンダント・グランドスタッフコース						
授業科目名	エアポートサービスⅡ			担当教員名	森 久見子					
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2		選択必修区分	必修		
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	エアポートサービスⅠで理解した空港サービスにおける基本スキーム(空港の基本構造・グランドスタッフの具体的な業務内容)に加え、グループワークやディスカッションを通し、主体性を持って航空業界の知識の定着を図る									
到達目標 (150文字程度)	航空業界の基本的知識を得た上で、グローバルな視野を持って現在の問題点やありたい姿など航空業界について主体的に研究し、チームでプレゼンテーションを行う									
評価方法	定期試験			その他の評価方法						
	レポート	テスト	授業ワーク							
	50%		50%							
教員実務経験	エアライングループ会社でのグランドスタッフ実務および業務管理									
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港や航空会社についての話題を取り上げ、課題や個人・チームでのワークやディスカッションにも積極的に取り組んでください									
教科書	書名	なし			書名					
	書名				書名					
参考書	書名				書名					
	書名				書名					

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ガイダンス	ガイダンス、空港スリーター等小テストの進め方
2	天気概況	METAR&TAF(天気情報)
3	イレギュラー	イレギュラー概要、フライトイレギュラー
4		ハンドリングイレギュラー対応
5	多客期対応	多客期対応①(グループワーク)
6		多客期対応②(グループ発表)
7	航空業界研究	テーマ策定 資料の作成 シナリオ作成
8		
9		
10		
11		研究内容発表リハーサル
12		
13	1、2年生合同授業	研究内容の発表
14		
15	振り返り	振り返り

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次		前期		
学科・コース名	エアポートサービス科			キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース							
授業科目名	接客・ホスピタリティⅡ-CA			担当教員名	田中 あおい						
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修				
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	客室乗務員の業務理解を深め、①保安要員②接客要員③マーケティング要員としての基礎力を身につける。機内で想定される対応基礎を学び、体現する。										
到達目標 (150文字程度)	ケーススタディーを重ね、シーンに合わせた基本的な接客力を身につけ、学科内接客コンテストで披露する。										
評価方法	定期試験			その他の評価方法							
	筆記試験	レポート	レポート	小テスト	取り組み姿勢						
			50%	30%	20%						
教員実務経験	エアライン採用面接担当、国内線・国際線客室乗務員経験										
学生へのメッセージ (150文字程度)	客室乗務員の主な業務を理解し、実際にパフォーマンスすることで、自信を持ってお客さまに接することができるよう、スキルを磨いてください。										
教科書	書名	コミュニケーションマナー検定			書名						
	書名	エアラインオペレーション入門			書名						
参考書	書名	AIR STAGE			書名						
	書名				書名						

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ガイダンス	授業内容説明、接客コンテスト説明
2	職種理解	キャビンアテンダントの役割(業務理解・必要なスキル)と第一印象づくり(身だしなみ・立居振舞)
3	応対練習	相手に応じた話し方①(ビジネスマン・高齢者・VIP・お子様連れ・お子様・学生等)
4		相手に応じた話し方②(上司・先輩等)
5	お客様ニーズ	相手の心を察する力
6		多様なお客様ニーズに応える
7	マーケティング要員	商品紹介(機内販売・航空会社カード等)
8	自己管理	健康管理・シフト勤務・時差調整等
9	接客演習	搭乗案内
10		安全確認業務
11		ドリンクサービス
12		機内アナウンス
13		機内販売業務
14	総合演習	搭乗案内～後期まで
15		接客コンテストに向けて

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次		前期		
学科・コース名	エアポートサービス科			キャビンアテンダント・グランドスタッフコース							
授業科目名	接客・ホスピタリティⅡ-GS			担当教員名	森 久見子						
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2		選択必修区分	必修			
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	<ul style="list-style-type: none"> 空港で想定されるレギュラーやクレームに対するの対応基礎を学び、エアラインの業務全般に求められる高品質な接客・接客を体現する 手話(指文字)を毎回授業の最初に行い習得する 										
到達目標 (150文字程度)	<ul style="list-style-type: none"> 学内モックアップを使用し、空港で想定される様々な接客シーン(カウンター・ゲート・ロビー・航空機内)のケーススタディーを繰り返し行い、学科内技能コンテストで自分らしい対応を披露する 手話技能検定7級を取得する(任意) 										
評価方法	定期試験			その他の評価方法							
	筆記試験	レポート	授業ワーク								
		30%	70%								
教員実務経験	エアライングループ会社でのグランドスタッフ実務および業務管理										
学生へのメッセージ (150文字程度)	一年次に学んだ知識とインターンシップで学んだ技量をあわせて、最高の対応力を発揮できるよう繰り返し練習してください										
教科書	書名				書名						
	書名				書名						
参考書	書名	ゼロから教えて接客・接客			書名	女性のビジネスマナー					
	書名				書名						

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ガイダンス	授業の進め方、手話技能検定概要、技能コンテスト説明、指文字
2	アナウンス	基本アナウンス、アナウンス文の組み立て、イレギュラー時のアナウンス
3		指文字
4	カウンター対応	カウンター基本対応、配慮を要するお客様
5		指文字
6		金銭授受の基本、クレジットカード対応、領収書
7		指文字
8	ロビーサービス	ロビーサービス対応
9		指文字
10	お手伝いが必要なお客様対応	車椅子を使ったご案内、視覚しょう害・聴覚しょう害のお客様対応
11		指文字
12	技能コンテスト	技能コンテストリハーサル
13		
14		接客コンテスト
15		

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次		後期		
学科・コース名	エアポートサービス科			キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース							
授業科目名	コンピュータ実践			担当教員名	森 久見子						
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2		選択必修区分	必修			
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	コンピュータネットワークの基礎知識とウイルス対策を学習し、ワープロソフト(Microsoft Word)、表計算ソフト(Microsoft Excel)、プレゼンテーションソフト(Microsoft Power Point)で基礎的な使用方法を習得する										
到達目標 (150文字程度)	パーソナルコンピュータの仕組みを理解し、タッチタイピングを身につけ、空港業務に活かせる基本的スキルを習得する										
評価方法	定期試験			その他の評価方法							
	筆記試験	レポート	授業ワーク	100%							
教員実務経験	エアライングループ会社でのグラウンドスタッフ実務および業務管理										
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港業務でも報告書や提案書、案内文を作成する機会は多々あります。コンピュータ教室で各々PCを使用し、繰り返しの実践で基本的な操作に慣れ、デスク業務においても即戦力となれるよう取り組んでください										
教科書	書名	なし			書名						
	書名				書名						
参考書	書名				書名						
	書名				書名						

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ガイダンス	コンピュータ教室の使い方、コンピュータ関連の基礎用語、文字入力基礎
2	タイピング	キーボード操作(タッチタイピング練習)
3		
4	インターネットとウイルス対策	ネットワークの基礎知識・インターネットの脅威
5	Word	Wordの基本操作、文書作成演習
6		
7		
8	Excel	Excelの基本操作
9		基本的な四則演算と関数
10		グラフ作成
11	Power Point	Power Pointの基本操作
12		資料のデザイン、演習
13		プレゼンテーション資料の作成
14	ビジネスメール	ビジネスメールの基礎
15	まとめ	課題作成

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科 キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース							
授業科目名	コミュニケーション実践		担当教員名	田中 あおい				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	伝える力としての非言語・言語表現力「文章」「会話」を中心に、テーマ別に学び社会人としてのコミュニケーション基礎力を体得する							
到達目標 (150文字程度)	2WAYコミュニケーション、論理性、語彙力に重点を置き、自分の伝えたことが相手にすべて伝わる訳ではないことを話し手と聞き手共に理解した上で、実践練習を通し、自己と他者の差異を超えグローバルに協働できるコミュニケーション力を身に付ける							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	授業ワーク					
		50%	50%					
教員実務経験	客室乗務員における実務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	社会人デビューに向けて、コミュニケーション力に磨きをかけます。毎回の実践練習ワークに積極的に参加し、自己本位のコミュニケーションから、相手が理解しやすいコミュニケーション力へとマインドセットしてください							
教科書	書名	なし			書名			
	書名				書名			
参考書	書名	コミュニケーション・スキルの学び			書名	文章力の基本の基本		
	書名	雑談力が上がる話し方			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ガイダンス	本講義の内容及び目的の説明
2	文書作成力	説明力を高めるポイント
3		文の基本形・簡潔に書く
4		わかりやすく・的確に書く
5	会話力	より共感を得やすい表現、メタファー
6		雑談力を身につける
7		会議の司会進行をする
8		間違いやすい敬語・正しい敬語を使う
9		話し方、発声、朗読練習
10		相手の話を聞きだす
11		アンガーマネジメントの必要性と実践
12	より良いコミュニケーションのために	アンコンシャスバイアス、ダイバーシティ&インクルージョン
13		チームビルディング、グループディスカッション
14		
15	まとめ、成果確認	

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次		後期	
学科・コース名	エアポートサービス科			キャビンアテンダント・グランドスタッフコース						
授業科目名	空港サービス基礎			担当教員名	村山 一成					
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2		選択必修区分	必修		
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	旅客サービスの基礎として航空旅客輸送における危険物の重要性および航空機の重量、重心位置管理、就航便の工程管理業務について学び、航空安全に対する知識を高め 定時運航に貢献する。									
到達目標 (150文字程度)	旅客機輸送における航空危険物の基礎知識 および航空機Weight & Balance基礎を学び、グランドスタッフとして就航便を空港へ迎え入れ、旅客サービスとともに安全かつ定時に空へ送り出す知識を習得します。									
評価方法	定期試験			その他の評価方法						
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢							
	90%		10%							
教員実務経験	エアライン系企業によるグランドハンドリング実務経験									
学生へのメッセージ (150文字程度)	就航便の安全な運航、かつ定時オペレーションに向けてさまざまな知識を習得することはグランドスタッフとして就業する際の重要なステップとなります。旅客サービス業務とともに、この授業科目の重要性を認識し、確実に習得できるよう授業に望んでください。									
教科書	書名	配布資料			書名					
	書名				書名					
参考書	書名				書名					
	書名				書名					

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	航空危険物	危険物の定義
2		危険物の分類(国際、国内)
3		取り扱いラベル
4		報告内容及び機長への通知が必要な物品。NOTOCの流れ
5		航空危険物の事故発生・発見時の報告、応急処置、通報要領
6	ロードコントロール	ロードコントロール概要
7		Weight & Balanceについて
8		事例紹介
9	ハンドリングコントロール	ハンドリングコントロール概要
10		スポット運用管理
11		工程管理業務
12		ムーブメントコード解説
13		ムーブメントコード付与の考え方
14		参考例題
15		演習および解説

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目					
学科・コース名	エアポートサービス科	キャビンアテンダント・グランドスタッフコース			開講時期	2年次	前期
授業科目名	品質管理		担当教員名	浅田 健一			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空業界および企業・自身にとっての品質は何かを考える。 品質を維持向上させていく上で、基本となる用語や問題解決に役立つ具体的手法について学ぶ。						
到達目標 (150文字程度)	学んだ手法を用い、品質管理・カイゼンに取り組む。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢				
	90%		10%				
教員実務経験	エアライングループ会社での品質管理経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	航空業界に限らず必要な内容です。言葉は難しく聞こえますが、内容は難しくありません。 個人またはグループ単位で適宜ワーク(ディスカッション)を行います。 職種問わず、就職された後に関わる活動として、品質管理を理解して下さい。						
教科書	書名	なし			書名		
	書名				書名		
参考書	書名	なし			書名		
	書名				書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	品質管理とは	自身を知る、チームとは
2		品質、品質管理、総合的な品質
3		カイゼン活動、仕事の進め方(PDCA)
4	進め方、方法	安全・品質の取り組み、顧客対応業務の品質管理
5		QC七つ道具・新QC7つ道具
6		QCストーリー、標準化
7		ブレインストーミング・なぜなぜ分析
8		工程とプロセス・報告・連絡・相談
9		5W1H・三現主義・安全衛生の活動・企業の品質管理紹介
10		重要な 取り組み
11	5S②	
12	再発防止、未然防止、ヒューマンエラー	
13	ヒヤリハット、危険予知(KYT)	
14	まとめ①	
15	まとめ②	

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目				開講時期	2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース					
授業科目名	航空機概論		担当教員名	村山 一成				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空機の歴史・航空機の仕組み(ベルヌーイの法則)・航空機材の変遷および航空機材のうち旅客機と貨物機の違い・航空会社の変遷を学習する。							
到達目標 (150文字程度)	航空業界で働く上で必要な航空機に関する基礎と運航管理の基礎知識を習得。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢					
		80%	20%					
教員実務経験	エアライン系企業による業務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	飛行原理の基礎知識を学び、航空機の安全運航、かつ定時オペレーションに向けてさまざまな知識を習得することはグラウンドハンドリング、グラウンドスタッフとして就業する際の重要なステップとなります。授業科目の重要性を認識し、確実に習得できるよう授業に望んでください。							
教科書	書名	配布資料			書名			
	書名				書名			
参考書	書名				書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	航空機の基礎知識	飛行の原理と航空機発展の歴史
2		航空機各部の名称および機能
3		発動機の種類および用途、構造の理解
4		発動機における地上職の危険性
5		航空計器の基礎知識
6		航空機の種類、旅客型機、貨物型機の相違点
7		緊急脱出シューターの基本構造と危険性
8		空港地上職の災害
9		航空会社の歴史と変遷
10	ハンドリングコントロール	ハンドリングコントロール概要
11		スポット運用管理
12		工程管理業務
13		ムーブメントコード解説
14		ムーブメントコード付与の考え方
15		演習および解説

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期	2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース				
授業科目名	企業研修教育(基礎)		担当教員名	森 久見子・(委託先企業)			
授業形態	実習	授業時数	120	単位数	3	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. 就職先企業の早期研修として、空港における実務業務を担当する。 2. 空港スタッフとして求められる航空専門知識の取得と社員としての実務経験を積む。						
到達目標 (150文字程度)	就職先企業における社員としての貢献と円滑な定着及び社会人としての一般常識や経験の蓄積を図る。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
			企業実習評価	勤務状況			
			80%	20%			
教員実務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職はこれからの長い人生の基盤であり、就職先企業の入社当初から社員及び社会人としてのしっかりとした責任意識と役割責任を果たすよう努めて頂きたい。						
教科書	書名				書名		
	書名				書名		
参考書	書名				書名		
	書名				書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1~30	基礎座学・初期教育	航空会社の基礎知識の取得と初期教育の定着
31~60	実務業務(基礎)	各空港における基礎的な実務業務の実施

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次		後期	
学科・コース名		エアポートサービス科 キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース								
授業科目名		企業研修教育(応用)			担当教員名		森 久見子・(委託先企業)			
授業形態		実習	授業時数	300	単位数	7	選択必修区分		必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)		1. 就職先企業の早期研修として、空港における実務業務を担当する。 2. 空港スタッフとして求められる航空専門知識の取得と社員としての実務経験を積む。								
到達目標 (150文字程度)		就職先企業における社員としての貢献と円滑な定着及び社会人としての一般常識や経験の蓄積を図る。								
評価方法		定期試験			その他の評価方法					
					企業実習評価			勤務状況		
					80%			20%		
教員実務経験										
学生へのメッセージ (150文字程度)		就職はこれからの長い人生の基盤であり、就職先企業の入社当初から社員及び社会人としてのしっかりとした責任意識と役割責任を果たすよう努めて頂きたい。								
教科書		書名			書名					
		書名			書名					
参考書		書名			書名					
		書名			書名					

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1~75	実務業務(応用)-1	各就職先企業の担当業務における基礎的な実務業務の着実な実施と定着
76~150	実務業務(応用)-2	各空港における実務業務の担当範囲の拡張と品質改善